

第11回理事会 議事録

一般社団法人 尾道青年会議所
2021年度 第11回 理事会議事録

日時:2021年11月8日(月) 19:00～

場所:尾道国際ホテル

(出席者)安楽城大作・今岡正英・歌一行・加藤雄大・吉田雄太・高升純・内海洋平・森川陵・大池慎三・沼田剛志・島田昌広・岡本大輔・山本恭平・高山敦好・吉田嵩正・小西琢真・中島裕一郎・加藤雅崇

(欠席者) 加度亮平・高橋建太・島田元太・岡本正也

(遅刻) 水野春樹

(早退) なし

(オブザーバー) 村橋聡・村上直弘

次第

1. 開会 (歌一行)
2. 点鐘: (安楽城大作)
3. JCI クリッド唱和: (大池慎三)
4. JCI ミッション並びに JCI ビジョン唱和: (山本恭平)
5. JC 宣言文朗読並びに綱領唱和: (小西琢真)
6. 出席者の確認: (加藤雄大)
7. 配付資料の確認: (歌一行)
8. 議事録署名人並びに議事録作成者の指名: (安楽城大作)
9. 議題の確認: (歌一行)
10. 理事長挨拶: (安楽城大作)

先週は3日と6日に事業があり、怒濤の1週間でありました。

両日多くのメンバーに参加いただき、お手伝いいただき誠にありがとうございました。

本年度はもう対外の事業ができないのではないかと考えていましたが、各委員会が頑張っ
て事業を計画していただき、素晴らしかったという声を多数いただいております。

これから各事業の報告作業があると思いますが、その際に心がけていただきたいことがあ
ります。

最近知った言葉で「経験は思考から生まれ、思考は行動から生まれる」という言葉があり
ます。

これはディズレーリーというイギリスの政治家の言葉ですが、この言葉は本当にその通り
だと感じます。

第11回理事会 議事録

先週に各委員会が事業という行動を起しましたが、それをただ「良かった」で済ませてしまうと、思考には繋がりません。

行動を起した後はしっかりと思考えなければいけません。

目的に即した行動ができたのか、もっとできたことはなかったのか、振り返り考えることが必要だと思います。

その振り返りが経験に繋がり、ひいては今年一年の成長に繋がるのであると思います。

是非事業に対して報告書を作成する際には参考にしていただきたいと思います。

報告書は来年以降の人達のために残す物であると思っている人もいるかもしれませんが、報告書を書くことによって客観的に自分を振り返るきっかけにもなりますので、しっかりと報告書を作成して欲しいと思います。

もう一点お伝えしたいのですが、本日の理事会において11月例会の審議事項があります。

その上程書の中に、「11月例会実施に至るまで」という吉田委員長の思いが書かれた資料がございます。

本来は上程資料の中には入れられない予定であったのですが、正副理事会で拝見し「是非入れて欲しい」と私からお願いしました。

理由としては、協議の際にいただいた意見に対して、納得し、共有をしてもらうために作られた資料であると感じたからです。

吉田委員長の思いが素直に書かれていて、私は凄く腑に落ちました。

何かを話し合う際に、自分が何を行いたいのか深いところで共有しないと、意見のすりあわせもできませんし、良い物も生まれませんと思います。

来年度の委員長予定者や理事メンバーの皆様もおられますが、委員会は「相談する場所」ではありません。

理事会は、協議の際は「自分がやりたいこと。そこにある背景と目的」を伝える場であり、共有する場です。

それを受けて、色々な意見を出し合います。

いただいた意見を真摯に受け止め、委員会に持ち帰り話し合い、決断したことを発表する場が審議です。

審議の場で必要な事は、理事メンバーに納得して貰い、実施に向かって同じ方向を向くことです。

その過程で自分の素直な気持ちを共有することは非常に大切であると思います。

次年度以降も協議の場を有効活用して欲しいと思いますので、是非その点は注意して欲しいと思います。

協議に残っているのは卒業例会のみですが、是非本日この後に出る意見をしっかりと受け止め実行に移していただきたいと思います。

以上となります。

本日はどうぞよろしく願いいたします。

11.直前理事長挨拶（加度亮平）

欠席のため割愛

12. 理事長報告：（安楽城大作）

13. 委員会報告：

【社会開発室】（歌一行）

「未来ビジョン委員会」（内海洋平）

委員会報告は記載のとおりです。

11月3日のために、ここに記載が無い日も日中集まり、ほとんど毎日のように準備をしておりました。

事業にお力を貸していただきありがとうございました。

口コミを聞いて集まった方や、バルーンを配った方に喜んでいただいたと報告を受けております。

報告の際にしっかり報告したいと思います。

「社会開発委員会」（大池慎三）

委員会報告は記載のとおりです。

本日は審議事項が1件ございますので、よろしくお願いいたします。

また11月6日は事業開催にご協力いただき、ありがとうございました。

事前予約、当日参加者合わせて163組の皆さんに防災ダンジョンを体験していただき、良い反応をいただきました。

ありがとうございました。

【指導力開発室】（吉田雄太）

「地域教育実践委員会」（島田昌広）

委員会報告は記載のとおりです。

11月6日事業実施いたしました。

皆さんから御指導いただきながら事業を構築し、当日は大きなトラブルやケガ無く、無事に終わることができました。

これから各企業様へ御礼に伺い、お話しを伺って、今後に活かせるようにしたいと思います。

ありがとうございました。

「組織活性化委員会」（山本恭平）

委員会報告は記載のとおりです。

第11回理事会 議事録

11月6日は長丁場ありがとうございました。

多くのメンバーの皆様のご協力のおかげで無事に実施することができました。

その後の反響ですが、バスが素晴らしいという声や、サプライズショーに感動したというような声をいただいております。

今後は、どのような集客があったであるとか、SNSの反応等を報告にて共有したいと思えます。

本当にありがとうございました。

【JC 運動推進室】（歌一行）

「拡大研修委員会」（吉田嵩正）

委員会報告は記載のとおりです。

長い拡大期間も一区切りとなりました。

皆様にご協力頂き、本日の新入会員審査までやってまいりました。

ありがとうございました。

本日、協議事項が2件ありますのでよろしくお願いいたします。

「総務広報委員会」（小西琢真）

委員会報告は記載のとおりです。

本日、審議事項が4件、協議事項が1件ありますのでよろしくお願いいたします。

14. 審議事項：

第1号議案 例会・総会の設営及び運営【8月例会・定時総会】 事業報告（案）に関する件

（小西琢真）

資料読み上げ（1-1, 1-2）

以上、慎重なる審議をよろしくお願いいたします。

*全会一致で承認。

第2号議案 新理事研修 事業報告（案）決算（案）に関する件

（小西琢真）

資料読み上げ（2-1, 2-2）

資料参照（2-3）

第11回理事会 議事録

予算に関しては、「事業収支計算書」にて説明いたします。

オンライン開催になりましたので、「配付資料 お題カード」の1071円が無くなりました。

また、色紙を購入しましたので、それが-330円となっております。

以上が変更点になります。

また、アンケート結果は率直な思いが伝わるので、そのまま記載しております。

以上、慎重なる審議をお願いいたします。

(森川陵)

ZOOM 開催大変お疲れ様でした。

講師を受けて下さった太田先輩からは、このような形式での新理事研修をされてみて、どのように思われたのか、感想等お聞きになられていたら教えて下さい。

次年度の参考になると思われます。

(小西琢真)

当日、太田先輩からは「コロナウイルスのようなことは自分が現役時代には経験が無い。現役メンバーの皆さんは事業の構築などが大変だろう」という心配しておられました。新理事研修に関しては、ZOOMで上手く伝わったか心配されていましたが、アンケート結果を見るときちんと伝わっていると感じました。

(内海洋平)

ZOOM中に、ギャラリーの人が音を立てていた瞬間があり、その際にそちらにビューがいていました。

こういった場合は講演中は「スポットライト」に、質疑中には「スピーカービュー」にされるとより良いかと思いました。

(小西琢真)

準備不足があったところもあると思います。

ご指摘ありがとうございます。

*全会一致で承認。

第3号議案 9月例会 事業報告(案)決算(案)に関する件

第11回理事会 議事録

(大池慎三)

資料読み上げ(3-1, 3-2)

続いて、予算について「事業収支計算(3-3)」をご覧ください。

当初は看板の作成を依頼しようと考えていましたが、オンライン開催になり、自作しましたので0円となりました。

その他変更点はございません。

以上、慎重なる審議をよろしくお願いします。

(高山敦好)

マイタイムラインの実施状況が良くないですが、これはZOOMで開催したのが原因だと認識されているのでしょうか。

(大池慎三)

当初は国際ホテルで実施を考えており、委員会メンバーで席をまわり作成していただく想定でいました。

オンライン開催になり、マイタイムラインの作成時間を省いた結果であると思います。

ZOOM開催の機能を活かせば良かったと感じています。

(高山敦好)

急だったので仕方がない面はあると思います。

オンライン開催に変更になるタイミングで精査できればより良かったと感じますが、内容は素晴らしかったです。

(安楽城大作)

緊急事態宣言などあり、バタバタしていたので仕方が無いですが、内容的にはそれぞれが家で家族と一緒に聞いても勉強になるようなものだったと感じました。

これは意見です。

*全会一致で承認。

第4号議案 仮入会員研修の調査・研究・実践 事業報告(案) 決算(案)に関する件

(吉田嵩正)

資料読み上げ(4-1, 4-2)

委員長所見読み上げ（資料4-5）

以上、慎重なる審議をよろしくお願いします。

（高山敦好）

3名が話をしましたが、時間がオーバーしてしまいました。
そのあたりは大丈夫だったでしょうか。

（吉田嵩正）

時間はオーバーしましたが、間延びしたわけではなく、良いお話を聞けたという声を聞いていますので、問題なかったと認識しています。

（高山敦好）

話していると時間の感覚がわからなくなってしまいました。
ZOOMで行う際に、何か時間がわかるような工夫があれば良かったと思います。
これは意見です。

*全会一致で承認。

第5号議案 会員拡大の調査・研究・実践 【2021年度正式入会審査】事業計画
（案）に関する件
（吉田嵩正）

資料読み上げ（5-1, 5-2）

（「入会申込書」「申立書」「意見書」は回覧資料にて閲覧。）

主推薦者推薦の弁

（吉田嵩正）

本年度は6名の仮入会員から入会届をお預かりしております。
審査の前に各推薦者より推薦の弁を頂きたいと思えます。
岡村虹二君の推薦者、島田委員長お願いします。

（島田昌広）

岡村君は当委員会の政成委員と仕事での繋がりでお会いしました。
尾道に移住して7年がたち、尾道に根ざして前向きに活動したいという強い思いを持っていることから推薦したいと思えます。

(吉田嵩正)

続いて黒瀬義隆君の推薦者、加藤事務局長お願いします。

(加藤雄大)

黒瀬義隆君とは元々、お兄さんと繋がりがありません。

お兄さんのほうから「弟が帰ってきた」ということで、情報頂き、私と加藤セクでフォローし入会の意思を頂きました。

非常にさわやかでオープンな性格なので、今後の尾道青年会議所の力となってくれると信じ、推薦いたします。

(吉田嵩正)

続いて中原元気君の推薦者、山本委員長お願いします。

(山本恭平)

中原君は当委員会の村橋委員と仕事での繋がりがありません、お声がけしました。

まじめで向上心のある方なので、必ず尾道青年会議所の力となってくれると確信しており、推薦したいと思います。

(吉田嵩正)

続いて福本真也君の推薦者、今岡監事お願いします。

(今岡正英)

福本くんとは仕事での繋がりがありません、お声がけさせていただきました。

明るく丁寧で人情味のある方なので、必ず尾道青年会議所を活躍してくれると思っておりますので推薦したいと思います。

(吉田嵩正)

続いて南尚幸君の推薦者、大池委員長お願いします。

(大池慎三)

南くんとは仕事での繋がりがありません、お声がけさせていただきました。

仕事熱心で多忙ではありますが、尾道のための活動をしたいと入会を希望しております。

明るく前向きな方なので、必ず尾道青年会議所を盛り上げてくれますので推薦したいと思っております。

(吉田嵩正)

続いて向井豪佑君の推薦者、吉田副理事長お願いします。

(吉田雄太)

向井君は仮入会を決めてからすべての行事に参加しており、昨日の清掃活動でも一番早く会場入りしておりやる気は十分です。

年齢も 25 歳と若く、今後の尾道青年会議所を引っ張っていくと確信しておりますので、推薦したいと思います。

(吉田嵩正)

会費及び入会金の支払い状況について今岡監事お願いします。

(今岡正英)

6 名全員分の 11 月・12 月分の会費及び入会金の確認済みです。

(吉田嵩正)

以上、慎重なる審査をお願いします。

(今岡正英)

新入会員審査の結果をご報告いたします。

満場一致を持って、6 名全員「良」ということで承認いただきましたことをご報告いたします。

(安楽城大作)

今岡監事の報告を持って審議可決といたします。

第 6 号議案 例会・総会の設営及び運営 【11 月例会場所の変更】事業計画（案）に関する件

(小西琢真)

資料読み上げ（6-1, 6-2）

(高升純)

資料に一部誤りがございました。

6-4 のタイムスケジュールは、7-13 のタイムスケジュールが正ですので、そちらに修正いたします。

以上、慎重なる審議をよろしく申し上げます。

*全会一致で承認。

第7号議案 11月例会 事業計画（案）予算（案）に関する件
（吉田嵩正）

資料読み上げ（7-1, 7-2）

（高升純）

資料に一部誤りがございました。

7-1の議案名が「11月例会 事業計画（案）予算（案）に関する件」に修正します。

資料参照（7-6）

続いて予算に関してですが、予算明細書にて変更のあった個所を説明します。

特別合同委員会の会場費として、尾道市役所へ9,240円を追加計上しております。

続いて、特別合同委員会について説明いたします。

（資料読み上げ 7-18～7-22）

以上、慎重なる審議をよろしく申し上げます。

（安楽城大作）

本年度、コロナウイルスの影響で合同委員会で実施できないことが色々ありました。

拡大活動に関するが多かったため、拡大委員会でリードして特別合同委員会を実施してほしいとお願いしてこういう運びになりましたこと、ご了承ください。

（内海洋平）

委員会単位で集まって例会を聞く場合、端末は1人1個必要なのでしょうか。

（吉田嵩正）

個人指導もありますので、1人1個用意をお願いします。

（高山敦好）

第11回理事会 議事録

協議の際に色々と意見しましたが、目的をブラさずに意見を取り入れて、ブラッシュアップされており、素晴らしいと感じました。

また、拡大の人数が6人という結果でしたが、その点はどう思っているでしょうか。目標の数に届かなかったのは吉田委員長だけでなく、理事メンバーの責任であると感じています。

6人という数字に関して思いをお聞かせください。

(吉田嵩正)

15人という目標に対して、6人という結果に終わりましたが、会として拡大のために、みんな想像以上に動いてくれました。

コロナウイルスの影響で思うように動けないことが多々あり、私から打開策が出せなかった部分がありましたが、やり切ったと感じております。

また、皆さんには大変感謝しておりますし、しっかりと次年度に引継ぎを行いたいと思います。

(高山敦好)

その思いを合同特別委員会でしっかりと伝えていただきたいと思います。

*全会一致で承認。

第8号議案 クリスマス会 事業計画(案) 予算(案)に関する件

(吉田嵩正)

資料読み上げ(8-1, 8-2)

(高升純)

資料に一部誤りがございました。

8-1の議案名が「クリスマス会 事業計画(案) 予算(案)に関する件」に修正します。

以上、慎重なる審議をよろしく申し上げます。

(高山敦好)

子供に渡すプレゼントが偏らないようにしてほしいと思います。

前回の事業で風船の数が足りなかったことがありましたが、やすならやる、やらないならやらないでしっかりと線引きと準備をしてほしいと思います。

(吉田嵩正)

各パートでしっかりと役割を決めて臨みます。

数も十分に用意し、不足がないようにしたいと思います。

*全会一致で承認。

第9号議案 クリスマス会 事業計画(案)予算(案)に関する件

(小西琢真)

資料読み上げ(9-1, 9-2)

以上、慎重なる審議をよろしくお願いします。

*全会一致で承認。

15. 協議事項：(安楽城大作)

第1号議案 卒業例会行事 事業計画(案)予算(案)について

(小西琢真) (*高山卒業予定者は退場)

資料読み上げ(10-1, 10-2)

資料参照(10-4)

予算に関しては、収支予算明細書(案)をご覧ください。

まず、収入明細ですが、

事業費繰入収入が60,000円。

事業予備費繰入収入が40,000円。

正会員の繰入費が141,570円。

特別会員の繰入費が54,000円

合計で295,570円。

次に支出明細ですが、

看板代が7,000円。

会場使用料が193,600円。

テーブルクロスが21,120円。

スクリーンレンタル代が16,500円。

OBへのお茶代が9,900円。

コサージュが8,800円。

第11回理事会 議事録

送辞用紙が3,465円。

映像作成費が25,000円。

卒業生に送るCD-Rが860円。

事業予備費支出が9,325円となっております。

続いて概要について説明いたします。

資料読み上げ（10-5～10-11）

また、緊急事態宣言が発令された場合は、安保シニアクラブ会長挨拶は事前に動画を録画いたします。

また、OB会員は現地参加されず、動画を配信いたします。

現地参加は、役のついた現役会員のみになります。

また、レイアウトですが、OB特別会員の皆様は扉から奥へ座っていただきます。

また、昨年との違いとしてはレッドカーペットを敷くことにしました。

こちらは国際ホテル様に無料で用意いただけます。

また卒業生登壇時ですが、資料のパワーポイントをスクリーンに映し、委員会メンバーがシナリオを読み上げ、登壇していただきます。

（高升純）

事業予備費繰入収入の40,000円の説明をお願いします。

（小西琢真）

OBの方々に敬意を感じていただくため、設えを増やしたため、予算がオーバーしました。

例年がない、テーブルクロスやお茶の設えが補正を組んでも用意すべきかも含めて、協議いただければと思います。

以上、慎重なる協議をよろしく願いいたします。

（山本恭平）

卒業例会で卒業生にどのように感じて欲しいか、小西委員長の考えを聞かせて下さい。

テーマに「感謝と敬意」とありますが、いまいちそこが感じられません。

（小西琢真）

まずは来ていただいたOBの方々に失礼の無いような設えにしたいという気持ちがあります。

また、OB会員の席の方々は自分の思い出のある卒業生がおられると思いますので、その方々を見ていただきたいです。

どういう気持ちになってほしいかという事ですが、「あたたかい気持ち」になって欲しいと思っています。

かつては、「卒業例会は現役メンバーだけで行えばいいのではないか」と考えていましたが、自らの経験を経て考えが変わりました。

今は「あたたかい気持ちになって欲しい」という思いが強くあり、そのためにOBの皆様を呼びたいと思うようになりました。

「OBを呼ぶ」という決断が、自分の思いの形です。

OBの皆様への恩返しとは、「成長した姿を見せること」だと思います。

卒業生1人1人を登壇前に紹介するのも、成長した姿を見せることの中の一つだと考えています。

そのため、自分たちで卒業例会を組み立てたいと思いました。

また、ムービーの作成についてですが、例年ムービーを作成していただいている岡田健吾先輩に「動画は簡単に人の注目を集められる。ムービーは本当に必要なのか、再度自分たちで考えてみるのは大事なこと」とアドバイスいただきました。

委員会で話し合い、ムービーを作るのは賛成だが、現役メンバーの手で作りたいという話になり、このような形を取りました。

(山本恭平)

OBの皆様を呼んでスマートな設えでということでしたが、そのためには全員で協力して行う必要があると思います。

どのメンバーも共通の思いで行うために、もう少し資料があるとわかりやすいと思います。

また、卒業生の紹介のパワーポイントとシナリオが載っていますが、作り込みが甘いように思いました。

パワーポイントは少し淡泊な印象がありますし、シナリオも細かいところですが「お疲れ様でした」ではなく「ありがとうございました」の方が、より、テーマにもあります感謝を伝えられるのではないかと思います。

(小西琢真)

パワーポイントやシナリオはご指摘の通り、まだまだ詰めが甘いところがありますので、これからブラッシュアップしていきます。

第11回理事会 議事録

またシナリオの文言も、「お疲れ様でした」ではなく「ありがとうございました」の方が、より丁寧であると思いました。

ありがとうございます。

(内海洋平)

送辞の前のOBからの一言についてですが、送辞の前にいただく形となりますが、送辞がやりにくくならないでしょうか。

私も送辞を読んだ経験がありますが、事前の紹介があり、OBからの一言があり、送辞という流れですと、被る部分が出てくる可能性が大きいと感じます。

そうなると、せっかくの送辞に向けた熱い思いが良い方向に向かわない可能性もあると感じました。

送辞、答辞をより盛り上げるために組み立てて欲しいと思います。

(小西琢真)

OBの一言を入れるのかどうか、委員会に持ち帰ります。

OBの一言と送辞が被る可能性もあると思っており、検討したいと思います。

また、個人の人柄を盛り込みすぎると送辞と被る部分が出てくるのではないかという懸念があり、紹介の内容ですが「事業内容」をメインに紹介したいと話しています。

その人の人柄よりは、何を行ったかという客観的な部分を紹介できればと思います。

(内海洋平)

送辞を読まれる方の「恩返し」という気持ちをもっと盛立てる形にしてもらえればと思います。

(山本恭平)

造花を用意するとありますが、生花の方が良いのではないのでしょうか。

(小西琢真)

生花は約20,000円程度で用意することができます。

予算がすでにオーバーしておりますが、そこも踏まえた上で生花にするか検討いたします。

(安楽城大作)

山本委員長には意見書で色々のご意見いただいております。

回答いただいた質問もありますが、その他回答漏れがある物に回答をお願いします。

第11回理事会 議事録

(小西琢真)

その他に関して順に説明いたします。

緊急事態宣言が発令された場合はOBの皆様は会場での参加はございません。

リハーサルに関してですが、お昼頃から行う予定です。

卒業生に関しては、開始の1時間程度前から行う予定です。

卒業生への贈り物として、当日の映像等がはいったCD-Rをお渡しします。

登壇時の紹介についてですが、感謝を伝えつつ、送辞と被らないように絶妙なバランスで紹介できないか委員会内で議論しております。

看板レイアウトについてですが、「卒業例会」に変更いたします。

(山本恭平)

パワーポイントに関しては、全員分作成されているでしょうか。

(小西琢真)

まだできておりません。

写真選定、パワーポイント作成、シナリオ作成を同時並行で進めております。

(山本恭平)

今年の締めくくりになる重要な会であり、現役会員全員で作る必要がある会ですので、審議の際には全員分の資料があればより良いかと思えます。

全員で動くことで、敬意と感謝が伝わるかと思えます。

(小西琢真)

全員で同じ方向を向くためにも、資料を再度見直します。

委員会毎の動線もあれば良いと感じました。

(村上直弘)

オープニングムービーが3分ということでしたが、8名の卒業予定者がおりますが、どのように分配されるのでしょうか。

一人あたりの時間が短くなるように思います。

(小西琢真)

1人あたりにすれば1分未満だが、ムービーが長すぎると間延びしてしまうので、3分程度で作成を考えております。

(岡本大輔)

第11回理事会 議事録

テーマが「恩返し」ということですが、違和感を覚えます。
卒業生を送り出す会なので、「旅立ち」など卒業生が主役のテーマの方が良いのではない
でしょうか。

恩返し、であると我々に向いているような印象です。

(小西琢真)

「恩返し」は私の所信でもあります。
卒業例会が総務広報委員会の1年間の集大成であると位置づけ、このテーマとしました。
しっかりと設えを行うことが、「安心して卒業していただく」ためにも重要であると思
います。

(岡本大輔)

それであれば、恩返しをもっと全面に出した方が良いと感じます。
先ほどの花の件も、予算を気にせず生花を使用するべきでは無いでしょうか。
これは意見です。

(内海洋平)

花束を卒業生に渡すのは委員会メンバーなのでしょうか。
また、予算に花束が上がっておりません。

(小西琢真)

卒業生がいる委員会から花束を渡す人を選出して貰う予定です。
予算は確認いたします。

(内海洋平)

花束は毎年渡しているので、確認をお願いいたします。

(吉田高正)

ショートムービーは作成した方が良いのではないかと感じました。
また、卒業生の登壇時のBGMはどうなっているのでしょうか。

(小西琢真)

BGMは流すつもりで考えております。具体的な曲までは決まっておりません。
ショートムービーについては、自分たちでパワーポイントでしっかり練習した物を伝えたい
と思っております。

(吉田嵩正)

BGMは個別に設定されるのでしょうか。

卒業生それぞれの思い出のある曲が使われた方が良いかと思います。

パワーポイントよりはショートムービーの方が良い設えになると思いますので、ご検討下さい。

(小西琢真)

送辞・答辞の登壇の際の音楽については、今回はムービーは流しませんので、音楽の使用は考えておりません。

(吉田嵩正)

「卒業例会に何の音楽を流そうか」と言われていた卒業生もいましたので、個人で楽曲を変えた方がより「恩返し」にふさわしい例会になるのではないかと思います。

ご検討下さい。

(村橋聡)

卒業生に渡すのが「CD-R」になっておりますが、映像等渡すのであれば「DVD-R」の方が良いかと思います。

これは意見です。

(山本恭平)

ショートムービーを辞めた理由、パワーポイントの決定的な良さがあれば教えて下さい。

(小西琢真)

パワーポイントが良いと言うことではなく、自分たちの肉声で卒業生を紹介したかったというのが始めにあります。

その際に、シナリオを読み上げる際に写真があったほうが良いだろうというところで、パワーポイントの使用を決めました。

(山本恭平)

写真のつなぎ合わせでショートムービーも作成可能だと思います。

これまで映像を作られてきた先輩も多数おられますので、作ろうと思えば作れると思います。

それに合わせてシナリオの読み上げもできると思います。

そういった点は委員会で検討されてないですか。

(小西琢真)

ムービーに合わせてシナリオを読むというのは委員会内では出てきませんでした。
検討したいと思います。

(山本恭平)

私が言いたかったのは、写真をつなぎ合わせてスライドショーのようなショートムービーの作成を検討していただければということです。

その場合、時間も決めることができますので、時間を計りながらシナリオを読む練習ができると思います。

会場にいる人は、パワーポイントのスライドよりもショートムービーの方がより引き込まれるかだと思いますので、ご検討よろしく願いいたします。

(小西琢真)

スライドショーにするか、アニメーション形式にするかは検討いたします。

写真だけだと、その写真がどういう状況で撮られたのかがわかりませんので、言葉で説明しながら写真を効果的に使い、紹介をしたいと思います。

(沼田剛志)

それぞれ卒業生を紹介するというのですが、歴に差がありますが、紹介のボリュームが大分違ってきたりしないでしょうか。

(小西琢真)

ボリュームに差が出ないように考えています。

理事を経験されていない方もいらっしゃいますが、別の形で貢献されてきました。

そういった点を紹介したいと思っています。

(沼田剛志)

次回までに資料を用意していただければと思います。

(島田昌広)

ここにあるシナリオを私も音読してみましたが、2分程度かかりました。

ここにゆかりのあるOBの人の一言が入ると、合計で3分以上かかると思います。

また送辞、答辞も4分と、かなり全体的に短く設定されているように感じます。

時間配分について再度精査された方が良いのではないかと思います。

(小西琢真)

時間配分は委員会内で練習しながら、見直したいと思います。

(山本恭平)

案内文にコロナ対策が書かれておりますが、昨年は「チェックシート」がありましたが、そういった物は無いのでしょうか。

(小西琢真)

検討したいと思います。

(安楽城大作)

その他、質問等無いようですので、本議案を閉じさせていただきます。

(* 高山敦好卒業予定者が再入場)

16. 報告依頼事項：(歌一行)

特に無し。

17. 連絡事項：(加藤雄大)

11月19日(火) 17:00が次回上程締め切りになります。

よろしくをお願いします。

18. 監事講評：

(今岡正英)

皆様、お疲れ様でした。

まずは、先週行われた多くの事業についてです。

3日は内海委員長、6日は大池委員長、島田委員長、山本委員長、大変お疲れ様でした。

今は事業後の御礼やフォローに色々とお忙しくされているかとは思いますが、委員長には必要なことであると思います。

アフターフォローの大切さは中々委員会メンバーに見えにくい部分かもしれませんが、今後委員長を経験される方々もおられますので、その点も是非しっかり伝えて欲しいと思います。

また、事業の発信についてですが、facebookを見ましたが、もう少し盛大に行われたのがわかるように発信できれば良かったと思いました。

この場を借りて総務広報委員会にお伝えさせていただきます。

また、本理事会についてです。

本日をもって新入会員の皆様が本入会されました。

次回からは、正会員として事業等に参加されることとなります。

第11回理事会 議事録

皆さんにお願いなのですが、是非新入会員の皆様に積極的に声を掛けて、ひとりで持ちぶさたな時間がないようにお気遣いいただければと思います。

そして、協議事項は卒業例会についてでした。

昨年の卒業例会が、至らぬ点があり、OBの皆様から色々と意見をいただきました。

その中で「OBの皆さんがどういうことを期待して卒業例会に来られているか」を伺ったので、それをお伝えしたいと思います。

その先輩が言われていたのは、「卒業生が入会した時と比べてどのくらい成長したのかを見るのが楽しみで来ている」と言われていました。

設営面で、「卒業生がどれだけ成長できたか」をわかるような設えを取り入れられればより良い物になるのではないかと感じます。

本日、色々な意見がでましたが、こちらの意見もご一考いただければと存じます。

以上、監事講評とさせていただきます。

19.次回開催日の確認：（歌一行）

12月6日（月）19：00より 国際ホテルにて開催いたします。

こちらは新旧理事会になりますので、ご参加の程よろしく願いいたします。

20.閉会：（歌一行）

21.点鐘：（安楽城大作）